

令和 6 年 11 月 30 日

東京学芸大学附属高等学校 第 23 回公開教育研究大会

芸術科（美術Ⅱ，工芸Ⅱ） 学習指導案

授業者 神田 春菜（美術工芸）
菅原 奈々子（工 芸）

研究主題との関わり

本校が目指す教育に繋がる生徒エージェンシーの育成について

『源氏物語』は王朝物語文学の最高傑作であり、古典探究の中核をなす教材である。その世界は非常に細やかかつ情緒深く描かれているが、従来は主に活字化されたテキストを中心に理解が進められていた。もちろん、古語の意味や用法、文語や訓読のきまりを的確に把握することは不可欠であるが、併せて古典作品を通してものの見方・考え方を深めたり日本の言語文化について考えを広めたり深めたりすることも求められている。そこで、古典探究を軸に芸術科や歴史科（日本史）と連携を図ることで『源氏物語』が示す世界をより広く探究できるのではないかと考えた。それは一つの事象に多角的な視点を持って切り込むことであり、生徒エージェンシーの育成につながるものと捉えられるのではないだろうか。

教科融合・連携について

『源氏物語』を中心とし、古典、芸術、歴史（日本史）で教科連携の授業を実践する。古典探究における学習と並行して、芸術の授業や歴史（日本史）の教員による解説を行うことで、生徒一人ひとりの『源氏物語』に対するイメージを豊かに深めていくことを目指す。古典探究の授業後に、音楽Ⅱ・美術Ⅱ・工芸Ⅱ・書道Ⅱの各芸術科目に分かれて授業を展開する。

1. 対 象

2 年 CG 組 美術選択者及び工芸選択者（美術 18 名，工芸 18 名）

2. 単元名

『源氏物語』の世界の「美意識」に触れよう

（美術Ⅱ：B 鑑賞イ(イ)，〔共通事項〕，工芸Ⅱ：B 鑑賞イ(イ)，〔共通事項〕）

3. 単元の目標

美術Ⅱ

- ・色や形，構図などの働きや特徴を基に，全体のイメージや作風，様式などで捉えることを理解する。（知識）
- ・平安時代前後の日本の美術作品や文化遺産などから表現の独自性などを感じ取り，時代，風土，社会生活などによる表現の相違点や共通点などから美術文化について考え，見方や感じ方を深める。（思考・判断・表現）
- ・作品の鑑賞を通して美術文化について見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組むことができる。（主体的に学習に取り組む態度）

工芸Ⅱ

- ・色や形，素材などの働きや特徴を基に，全体のイメージや作風，様式などで捉えることを理解する。（知識）
- ・平安時代前後の日本の工芸作品や文化遺産などから表現の独自性などを感じ取り，時代，風土，社会生活などによる表現の相違点や共通点などから工芸の伝統や文化について考え，見方や感じ方を深め

る。（思考・判断・表現）

- ・作品の鑑賞を通して工芸の伝統や文化について見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組むことができる。（主体的に学習に取り組む態度）

4. 単元設定の理由

（1）生徒たちの実態および本単元に至るまでの学習

美術では，1 年次に「鳥獣人物戯画絵巻」や水墨画の鑑賞を通して，日本の美術文化の見方や感じ方を深める活動に取り組んだ。絵巻物や墨による表現の特徴について触れてきた。また，A 表現の活動と関連して，静物画やシュールレアリズムなどの作品を鑑賞し，造形的な視点で作品を分析する活動に数回取り組んできた。鑑賞を通して他者の価値観に触れることが楽しいと感じる生徒が多い印象である。一方で，岩絵具など日本画特有の表現については知らない生徒がほとんどである。

工芸では，日用品や制作してきた作品を鑑賞し，作者のこだわりや素材を生かした表現，使い手に合わせた工夫などを分析し，考えることを通して工芸作品の見方や感じ方を深める活動に取り組んできた。美術と同様，他者の価値観に触れることに積極的に取り組むことができている。一方で，文化的な視点から工芸作品を鑑賞する機会はほとんど取れていない。

例年，古い時代の美術や工芸の作品を鑑賞することに対し，生活と関連付ける視点を持たせることは難しさを感じている。古典探究の授業で学んでいる物語に関わるものを取り扱うことで，主体的に鑑賞の活動に取り組むことが期待できる。

（2）教材の特性と授業者の手立て

日本の美術や工芸の枠組みは，江戸時代以前ははっきりと区別することが難しい。本単元で取り上げる「源氏物語絵巻」（国宝，12 世紀）もまた，美術，工芸お互いが影響を及ぼしあいながら文化が形成された時代のものである。一方の視点だけでは，当時の人々の美意識に触れることは難しいと考える。そのため，美術と工芸それぞれの視点で作品を分析し意見を交わすことで，日本の美術文化や工芸の伝統や文化への見方や感じ方を広げ，深めていくことを期待し，合同での鑑賞活動に取り組む。

「源氏物語絵巻」は『源氏物語』の内容に合わせて描かれた物語絵である。描かれた時代の背景や描き方の特徴をある程度理解していないと作品の見方を深めていくことが難しい部分がある。また，日本画に用いる岩絵具は高校生にとって馴染みは薄く，これまでの単元でも扱ってきていないため，日本画特有の質感は想像しにくい。作品に対する第一印象や生徒の自由な見方を大切にしつつも，作品の描かれ方や描かれたものに対する理解を深めることで，作品の見方や感じ方を深めていけるよう，4 つの視点で調査する時間を設ける。美術では，当時の絵具，絵巻物独自の構図に着目させ，工芸では，当時の調度品に施される文様，装束に着目させる。時間に限りがあるため，ジグソー法を取り入れることで，それぞれが調査した内容を共有し意見を交わす形をとる。

調査をする際，なるべく実物に触れることができるよう，岩絵具や天然染料の染色見本なども用意し，当時の姿がより具体的にイメージできるようにする。生徒が主体となって調査を進めることが望ましいが，書籍やインターネット上の情報だけでは理解しにくい部分も多い（岩絵具の接着剤である膠や蒔絵など）ため，教師の方からどこに着目すればいいかある程度示唆する必要がある。

5. 指導計画

(1) 単元計画 全 1 時間

次	学習のねらい	主な学習活動	評価（評価物）
1 1 時 間	社会の中の美術文化や工芸の伝統や文化についての見方や感じ方を深める	① グループで「源氏物語絵巻」を鑑賞し、気付いたことをまとめる ② 美術 2 チーム，工芸 2 チームに分かれ，「源氏物語絵巻」に関わる事柄を調査する ③ ①のグループに戻り，情報を共有し，再度鑑賞して当時の美意識について考えをまとめる	知，鑑，態鑑 （ワークシート，授業の振り返り，授業の取り組みの様子）

(2) 本時の学習（1/1 時間目）

- ①本時のねらい
- ・『源氏物語』の書かれた時代の美術作品や工芸作品の鑑賞を通して，当時の人々の美意識やこだわりについて考え，美術文化や工芸の伝統や文化について見方や感じ方を深める。

・古典の世界のイメージを心豊かに持ち，美術や工芸のみならず，古典文学に対する興味や関心を高める。
- ②本時の授業展開

時間	学習の流れと生徒の活動	教員の指導と手立て
12 分	号令・出欠確認 導入 授業のねらいを確認する。	適宜，スライドを使用する。 生徒持ち物：筆記用具，PC，国語の授業で使用している便覧
「源氏物語絵巻」と『源氏物語』が書かれた時代の美術，工芸文化について調査し分析し，意見を交わすことで，当時の人々の「美意識」に触れていく		
	4 から 5 人 1 グループで 2 種類の「源氏物語絵巻」の場面を鑑賞しよう 科学的分析に基づき作成された復元模写も同時に鑑賞し，当時の色味について具体的なイメージを持つ。 鑑賞する中で気づいたことをできる限り上げ，意見交換する。 「源氏物語絵巻」の基本的な情報について確認しよう 徳川美術館の学芸員が紹介する動画を視聴し，ワークシートに記録する。 物語の一シーンを描いた物であり，文章（詞書）と合わせて一つの作品であるこ	各グループに原寸で印刷した作品の画像を用意。 「柏木二」「宿木三」の 2 つを使用する。 取り組み方について「夕霧」を例として取り上げ，数人に気付いたたことを挙げさせ，些細なことでも出していいことを確認する。 ここでは，自由な発想で鑑賞することを重視するため，作品の概要や物語のあらすじには触れない。 机間巡視の中で各グループで話題にしていることを確認し，全体に向けていくつか紹介する。 使用する動画 YouTube 徳川美術館チャンネル「特別公開「国宝 源氏物語絵巻」展覧会見どころ紹介 徳川美術館」 https://www.youtube.com/watch?v=cAqr2gGnfbk 絵巻物のレプリカを提示し，具体的なイメージを持たせる。

20 分	とを確認。 鑑賞した作品のあらすじを簡単に知る。 本時①	
美術 2 チーム，工芸 2 チームに分かれて，4 つの視点で「源氏物語絵巻」の世界をリサーチしよう！		
18 分	4 つの視点で「源氏物語絵巻」の世界をリサーチしよう 提示されたお題を確認し，それぞれに関連する資料を見たり，作品を鑑賞したりしながら調査する。	調査するお題は以下の通りである。それぞれに必要な資料を用意し，提示する。 美術 A:どのような絵具で描かれたのかりサーチせよ！ 提示資料：「源氏物語絵巻」拡大画像，日本画の絵の具に関する書籍，天然顔料や染料，膠（にかわ） B:絵巻物の構図の特徴をリサーチせよ！ 提示資料：「源氏物語絵巻」全 19 場面 工芸 C:「源氏物語絵巻」に描かれる調度品や楽器についてリサーチせよ！ 提示資料：正倉院宝物に関わる書籍，平安時代の工芸品の書籍 D:平安時代の装束に使われる色をリサーチせよ！ 提示資料：かさねの色目など平安時代の色彩に関する書籍，当時の染色方法をを再現した色見本 机間巡視し，補足の必要な部分について適宜説明をしたり，着目すべき点を提示したりするなど，アドバイスをを行う。 本時②・まとめ それぞれリサーチしたことを共有し，改めて作品を鑑賞しよう チームで調べてきたことを共有する。 再度，導入で鑑賞した 2 つの作品を鑑賞し，「物語のワンシーンを表すための工夫」「当時の人々の生活スタイル」「当時の人々の美意識」を中心に気付いたことを話し合う。 3 分前になったらクラスルームで配信された Google フォームに振り返りを入力する。
		Google フォームの内容は以下の通り。 ①.美術，工芸それぞれで共有し感じた「共通していた点」と「異なった点」を踏まえ，当時の人々の美意識はどのようなものであったと感じましたか？ ②.今回学んだことから古典の学習で生かしたいことはありますか？ ③.本日の授業の感想

育成する資質・能力		4	3	2	1
観点	持つべき視座				
知識・技能 <i>知識〔共通事項〕</i>	基本的な知識・技能の習得	それぞれの造形要素の特徴と作品全体のイメージや作風，様式を関連付けて捉えている。	それぞれの造形要素の特徴と作品全体のイメージを関連付けている。	造形要素の特徴を捉えているが，全体のイメージとあまり関連付いていない。	造形要素の特徴をほとんど捉えていない。
思考・判断・表現 <i>鑑賞の能力</i>	課題を発見する力	他の人が調べたことも取り入れながら作品を多角的に分析し，鑑賞して感じたことから当時の人々の美意識について考えることができる。	自分が調べたことを取り入れて作品を分析し，鑑賞して感じたことから当時の人々の美意識について考えることができる。	作品を鑑賞して感じたことから鑑賞して感じたことから当時の人々の美意識について考えることができる。	作品を鑑賞しているが，美意識について意識が向いていない。
	自らの主張や考えを表現する力	自分が感じた当時の人々の美意識について根拠を持って説明できる。	自分が感じた当時の人々の美意識について説明できる。	自分が感じた当時の人々の美意識について一言二言伝えられる。	自分が感じたことをほとんど伝えていない。
主体的に学習に取り組む態度	問題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢	新たな気付きを得ようと資料や他作品と比較しながら，粘り強く作品を鑑賞している。	新たな気付きを得ようと，粘り強く作品を鑑賞している。	新たな気付きを得ようと，鑑賞しているが，目を向けている時間が短い。	鑑賞することに消極的で作品をほとんど見ていない。
	問題解決に向けて他者と協働できる力	一緒に鑑賞したり調査したりしている全てのメンバーと積極的に意見を交わし，見方を深めようとしている。	一緒に鑑賞したり調査したりしている数人のメンバーと積極的に意見を交わし，見方を深めようとしている。	一緒に鑑賞したり調査したりしている数人のメンバーと少し意見を交わし，見方を深めようとしている。	一緒に鑑賞したり調査したりしている数人のメンバーとの交流がほとんどない。
	生徒エージェンシー	社会や人生における芸術の価値について確信を持ち，自己の感性と美意識を高めることや美術文化や工芸の伝統や文化に親しもうとしている。	社会や人生における芸術の価値について理解を示し，自己の感性と美意識を高めることや美術文化や工芸の伝統や文化に親しもうとしている。	社会や人生における芸術の価値について興味を示しつつ，自己の感性と美意識を高めることや美術文化や工芸の伝統や文化に親しもうとしている。	自分ごととして，自己の感性と美意識を高めることや美術文化や工芸の伝統や文化に親しもうとしている。

引用文献・参考文献（★のものは授業中に生徒が活用する資料としても提示）

★1981『名宝日本の美術 第10巻 源氏物語絵巻』相賀徹夫編著，小学館

★1981『太陽臨時増刊 正倉院の宝物』真鍋喬編，平凡社

★2000『日本・中国の文様事典（みみずくアートシリーズ）』早坂優子著，視覚デザイン研究所

2006『よみがえる源氏物語絵巻：平成復元絵巻のすべて』展覧会図録，NHK 名古屋放送局，NHK 中部ブレーンズ編，徳川美術館，五島美術館

★2006『よみがえる源氏物語絵巻 全巻復元に挑む』NHK 名古屋「よみがえる源氏物語絵巻」取材班著，NHK 出版

★2006『別冊太陽 日本のこころ 143 正倉院の世界』湯原公浩編，平凡社

★2008『源氏物語の色辞典』，吉岡幸雄著，紫紅社

2010『開館五十周年記念特別展 国宝 源氏物語絵巻』展覧会図録，五島美術館

★2012『王朝のかさね色辞典』吉岡幸雄著，紫紅社

★2012『絵画 洋画・版画・日本画の材料と技法』金子亨 速水敬一郎 清野泰行著，東京学芸大学出版会

★2014『日本美術全集 第5巻 平安時代Ⅱ 王朝絵巻と貴族のいとなみ』泉武夫他編，小学館

「平安の美－絵画・書・工芸」泉武夫著，「国宝『源氏物語絵巻』－その諸相の一考察」四辻秀紀著，「平安の工芸とかざり」日高薫著

★2017『伝統工芸ってなに？－見る・知る・楽しむガイドブッケー』公益財団法人 日本工芸会東日本支部編，芸艸堂

2017『六本木開館 10 周年記念展 国宝《浮線綾蒔絵螺鈿手箱》修理後初公開 神の宝の玉手箱』展覧会図録，サントリー美術館

2018『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編』文部科学省

2024『詳解『源氏物語』文物図典－有職故実で見る王朝の世界－』八條忠基著，平凡社

授業で使用了た作品の画像及び出典

源氏物語絵巻 12 世紀

五島美術館（東京都），「鈴虫一」「鈴虫二」「夕霧」「御法」

徳川美術館（愛知県），「蓬生」「関屋」「柏木一」「柏木二」「柏木三」「横笛」「竹河一」「竹河二」「橋姫」

「早蕨」「宿木一」「宿木二」「宿木三」「東屋一」「東屋二」

1971『国宝 源氏物語絵巻〈映入本〉』講談社

1981『名宝日本の美術 第10巻 源氏物語絵巻』相賀徹夫編著，小学館，pp14-15

徳川美術館「国宝 源氏物語絵巻」場面解説（デジタル版）(<https://my.ebook5.net/tokugawa/genji/>)（24/11/28 現在）

源氏物語絵巻の拡大画像

2004『光学的手法による国宝・源氏物語絵巻調査報告書』東京文化財研究所美術部編，文化財研究所東京文化財研究所，pp20-23,66-71,128-129

源氏物語絵巻の復元模写，

2006『よみがえる源氏物語絵巻 全巻復元に挑む』NHK 名古屋「よみがえる源氏物語絵巻」取材班著，NHK 出版，pp8-45

ワークシート使用作品

薬師三尊像 7・8世紀,薬師寺（奈良県）, **釈迦説法図繡帳** 7世紀末・8世紀初頭,奈良国立博物館, **阿修羅像** 734年頃,興福寺（奈良県）, **鑑真和上坐像** 8世紀,唐招提寺（奈良県）, **絵因果経**（部分）8世紀,醍醐寺（奈良県）, **聖徳太子二童子像** 8世紀前半,宫内庁, **瑠璃坏** 8世紀,正倉院宝物, **螺鈿紫檀五絃琵琶**（表面）8世紀頃,正倉院宝物, **如意輪観音菩薩像** 840-850年頃,観心寺（大阪府）, **胎藏界曼荼羅図** 900年頃,東寺（京都府）, **宝相華迦陵頻伽蒔絵冊子箱** 919年,仁和寺（京都府）, **阿弥陀如来坐像** 1053年,平等院（京都府）, **中尊寺金色堂** 1124年,中尊寺（岩手県）, **平家納経 薬王品見返絵**（部分）1164年,厳島神社（広島県）, **伴大納言絵巻 上巻**（部分）12世紀前半,伝 常盤光長,出光美術館（東京都）, **信貴山縁起絵巻 飛倉の巻**（部分）12世紀,朝護孫子寺（京都府）, **鳥獣人物戯画 甲巻**（部分）12世紀,伝 鳥羽僧正,高山寺（京都府）, **片輪車蒔絵螺鈿手箱** 12世紀,東京国立博物館, **阿弥陀聖衆来迎図** 12世紀後半,有志八幡講十八箇院（和歌山県）, **金剛力士立像 阿形像** 1203年,運慶他,東大寺（奈良県）, **西本願寺本三十六人家集 順集** 12世紀前半,西本願寺（京都府）, **無著像** 1208年,運慶他,興福寺（奈良県）, 伝 **源頼朝像** 13世紀頃,神護寺（京都府）, **浮線綾蒔絵螺鈿手箱** 13世紀,サントリー美術館（東京都）, **平治物語絵巻 三条殿夜討巻** 13世紀後半,ボストン美術館（アメリカ）, **阿弥陀二十五菩薩来迎図** 14世紀前半,知恩院（京都府）

1997『日本美術館【全1巻】』小学館

2003『増補新装［カラー版］日本美術史』辻惟雄監，美術出版社

2019『1冊でわかる 美術史のきほん』京都芸大鑑賞教育研究会/秀学社編集部編，日本文教出版

『源氏物語』の世界の「美意識」に触れよう

【この授業を通して学んで欲しいこと】

- 『源氏物語』の書かれた時代の美術作品や工芸作品の鑑賞を通して、当時の人々の美意識やこだわりについて考え、美術文化や工芸の伝統や文化について見方や感じ方を深める。
- 古典の世界のイメージを心豊かに持ち、古典文学に対する興味や関心を高める。

この授業でメインで鑑賞する作品《源氏物語絵巻》



柏木二



宿木三

【合同での活動】

1.2つの作品をグループで鑑賞し、気付いたことや疑問点をたくさん出しましょうと（次の4点に着目:A) 何が描かれているか？, B) 何で描かれているか？, C) どのように描かれているか？, D) どんな印象か？）。

2. 徳川美術館チャンネルの動画で説明されている「源氏物語絵巻」の特徴をまとめましょう。

【美術での活動】チーム（ ）

3. チームに配布された「源氏物語絵巻」に関わるお題を確認し調査しましょう。その内容をまとめておきましょう。

【合同での活動】

4. それぞれが調査したことを共有した上で、改めて「源氏物語絵巻」の2つの作品を鑑賞しましょう。物語のワンシーンを表すための工夫や当時の人々の生活スタイル、**当時の人々の美意識**について、改めて気づいたことを話し合いまとめましょう。

5.Google Form に本日の振り返りを書いてください。

- ①. 工芸の人と共有して感じた「共通していた点」と「異なった点」を踏まえ、当時の人々の美意識はどのようなものであったと感じましたか？
- ②. 今回学んだことから古典の学習で生かしたいことはありますか？
- ③. 本日の授業の感想

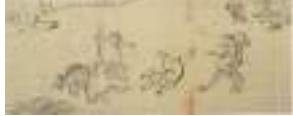
「源氏物語絵巻」が描かれた前後の代表的な美術・工芸作品



奈良時代



平安時代



鎌倉時代



『源氏物語』の世界の「美意識」に触れよう

【この授業を通して学んで欲しいこと】

- 『源氏物語』の書かれた時代の美術作品や工芸作品の鑑賞を通して、当時の人々の美意識やこだわりについて考え、美術文化や工芸の伝統や文化について見方や感じ方を深める。
- 古典の世界のイメージを心豊かに持ち、古典文学に対する興味や関心を高める。

この授業でメインで鑑賞する作品《源氏物語絵巻》



柏木二



宿木三

【合同での活動】

1.2つの作品をグループで鑑賞し、気付いたことや疑問点をたくさん出しましょうと（次の4点に着目:A) 何が描かれているか？, B) 何で描かれているか？, C) どのように描かれているか？, D) どんな印象か？）。

2. 徳川美術館チャンネルの動画で説明されている「源氏物語絵巻」の特徴をまとめましょう。

【工芸での活動】チーム（ ）

3. チームに配布された「源氏物語絵巻」に関わるお題を確認し調査しましょう。その内容をまとめておきましょう。

【合同での活動】

4. それぞれが調査したことを共有した上で、改めて「源氏物語絵巻」の2つの作品を鑑賞しましょう。物語のワンシーンを表すための工夫や当時の人々の生活スタイル、**当時の人々の美意識**について、改めて気づいたことを話し合いまとめましょう。

5.Google Form に本日の振り返りを書いてください。

- ①. 美術の人と共有して感じた「共通していた点」と「異なった点」を踏まえ、当時の人々の美意識はどのようなものであったと感じましたか？
- ②. 今回学んだことから古典の学習で生かしたいことはありますか？
- ③. 本日の授業の感想

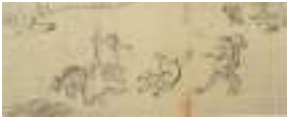
「源氏物語絵巻」が描かれた前後の代表的な美術・工芸作品



奈良時代



平安時代



鎌倉時代

